

# 26号 熱田高同窓会報

発行  
愛知県立熱田高等学校  
同窓会事務局  
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ  
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ  
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>

## 目次

### 巻頭文 ----- 1

創立70周年記念事業を終えて  
会長 佐々木元彦 1回生

創立70周年記念式典の御報告 2  
校長 熊谷誠人

創立70周年までこられた  
事務局長 6回生 万前秀男  
同窓会主催の式典・祝賀会 --- 3  
熱田高校主催70周年式典  
第3回ホームカミングデー --- 4

### がんばれ熱校生 ----- 5

We have a dream  
20回生 浅井 武  
悔いなきチャレンジを  
29回生 小塚聡美  
激動の時代を駆け抜けた半生  
12回生 森田文二  
円丈師匠を偲んで  
円丈さんと飯伊の狛犬  
16回生 木下浩志  
「天声人語」より  
11回生 服部政一

### 熱田高校の今 ----- 8

総文祭に参加した  
充実の3日間  
2年 西元 楓  
人工芝運動場でくつろぐ生徒  
事務局だより

紅い実 (パステル画)  
11回生 田中和枝(旧姓 竹内)  
同窓会からの諸連絡  
訃報

同窓会のQR  
題字  
初代書道教諭 名郷紫山



### 人工芝化の完成運動場(創立70周年記念事業で寄贈)

創立70周年記念事業を終えて  
会長 佐々木元彦 (1回生)



会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。

令和4年11月6日名古屋東急ホテルに於いて創立70周年記念総会並びに祝賀会を開催することができました。ご来賓として歴代学校長をはじめ教職員の皆様方のご臨席を賜り、同窓会員併せて総勢220名余の参加者を得て、コロナ禍を配慮しながら盛大に終えることが出来ました。また、本会の将来の発展に大いに役立つ基盤ともなる同期会は、回生幹事のお世話によって、複数回生で開催されました。祝賀会時よりも、より多くの参加者を得て、三々五々に恩師の先生方を囲んでの盛り上がり

をお聞きするに嬉しく頼もしく思いました。「絆の横糸」の繋がりを密にするべく更なる工夫をいただき、同期会の活性化を図ってくださることをお願い申し上げます。  
創立70周年記念事業は、運動場の人工芝化事業を目的として、多大なご寄附とご支援を会員の皆様から賜り厚く御礼申し上げます。御陰で左記の寄附事業も実り、目的達成が出来ましたからご報告申し上げます。  
一、運動場の人工芝化と  
関連整備工事  
一、運動場北トイレの改修工事  
一、飾り戸棚の設置(1棟1階)  
一、卒業生用書庫の設置(図書館)  
最後に、熱田高校同窓会の更なる発展のために、会員各位の格別のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。ご健勝とご多幸を祈念申し上げます。でお礼のご挨拶いたします。

令和4年11月吉日

創立70周年記念式典の御報告

校長 熊谷 誠人



同窓会会員の皆様、こんにちは。本誌の前号でもお知らせしましたが、令和4年11月1日

(火)に本校体育館において、熱田高等学校創立70周年記念式典が滞りなく挙行されました。コロナ禍の中にあつて、同窓会長佐々木元彦様、歴代校長の神野秀雄先生・北角尚治先生・三好博樹先生・名古屋学院大

学長の赤楚治之様をお迎えしました。PTA会長森垣いづみ様をはじめPTA幹事の皆様・同窓会役員の皆様、そして全校生徒とともにお祝

いできましたことは、慶賀の至りでした。ご参列いただきました皆様方に、厚く御礼を申し上げます。ご存知のように、本校は、昭和28年4月に、戦後教育の復興と、未来を担う人材の育成を目指して、教育愛知のモデルスクールとして熱田千

年の地に誕生しました。爾来、時代の変化や社会の求めに応じつつ、70の星霜を積み重ねてまいりました。卒業



生の数は全日制と定時制をあわせて2万8千名に垂んとし、各界をリードする逸材として幅広く活躍していらっしゃると思います。こうして本校が長き風雪に耐えて今に至る発展を遂げてまいりましたのも、歴代校長先生方の献身的な御尽力と同窓会の皆様方、保護者の皆様方の一方ならぬ御支援の賜物です。皆様方に深く感謝を申し上げます。

創立から70年を迎えた今、本校の教育環境は大きく整えられました。グラウンドが人工芝となったことは、その象徴となるものでした。創立70周年記念事業実行委員会の皆様为主体となつて、運動場を人工芝にするという一大プロジェクトを完遂して

いただきました。今年の5月27日の体育祭では、その人工芝化のメリツトが最大限に生かされたことは、前号でも申し上げた通りです。改めて記念事業実行委員会の皆様、そして寄附活動の主体となつて粘り強く取り組んでくださった同窓会の皆様方

わけでも実行委員長かつ同窓会長でいらつしやる佐々木元彦様には、厚く御礼を申し上げます。最後にになりましたが、創立70周年を記念して、皆様から寄せられました温かい御厚情に心からの謝意を表し、今後とも変わらぬ御支援を賜りますことをお願い申し上げます。

卒業生の一員として、同窓会活動に携わつて来た一部を披露します。私は、6回生です。私には、80歳になります。母校へ卒業生の第1号として、昭和42年一宮高より赴任。昭和61年3月までの19年間奉職しました。同期生には、大竹由紀子(旧姓吉村)・八谷芳樹・今西英雄先生が一緒です。又、昭和4

創立70周年までこられた

事務局長 万前秀男(6回生)



卒業生の一員として、同窓会活動に携わつて来た一部を披露します。私は、6回生です。私には、80歳になります。母校へ卒業生の第1号として、昭和42年一宮高より赴任。昭和61年3月までの19年間奉職しました。同期生には、大竹由紀子(旧姓吉村)・八谷芳樹・今西英雄先生が一緒です。又、昭和4

年生れ組の安藤威夫・稲垣健一・内田久・三輪欣也先生方には、何かにつけ厳しく薫陶をいただきました。第4代日比野校長から同窓会担当を命ぜられてから、今日に至っております。当時の同窓会活動は組織

が弱く、佐々木会長と役員作りから始めた記憶があります。主な事業は、他校並の周年記念事業を開催することと、学校の要請に応じ、施設設備の充実を図ることでした。前庭の整備・体育館の緞帳・体育館の床面整備等々を手がけました。これには資金が必要で、卒業生の寄附によってやり遂げてきました。

これまで特に力を注いだ取り組みは、情報の発信です。現在、卒業生約2万8千名のうち、住所確認者は2万1千名。協力依頼をお願いす

るに『会員名簿』の作成は不可欠なものです。しかし、個人情報取り扱いが、厳しさを増すなか、「会員名簿」の作成は中断しています。また母校や同窓会に対し、「何も協力をしたくない、面倒だ」が、恐いほど増え、学校への愛着が疎遠になりつつあると感じております。「どうすればいいのか」が同窓会役員の課題にもなり、先ず情報伝達的手段に、「同窓会報」の充実と「ホームページの開設」を考えました。平成28年度の「会報14号」より年2回の発行を確立させ、ホームページと会報を情報発信の基盤として、素人集団ですが、継続は力だと考えています。

次に同期会の開催を回生役員のお力添えを得て促進。同期生がまとまり、互いを尊敬尊重し、交流の場ができ、強力な『横の絆づくり』の成果を生みだす力になりました。御陰様で『運動場の人工芝化改修工事』は終え、これを起爆剤にさらなる熱田高校の発展を願っております。

第38回(昭和34年)全国高校サッカー選手(ベストエイト進出)



筆者 前列右2人目



ご列席の歴代校長先生(左から神野・北角・小林・三好・熊谷)



受付対応 (参加者 220 名余)



司会者  
伊藤 紀子 (30 回生)



運動場の人工芝化のDVD



人工芝化目録贈呈  
第 19 代熊谷誠人校長へ



佐々木元彦 同窓会長の挨拶

### 総会 祝賀会

#### ～式次第～

- 校歌演奏
- 開会のことば
- 同窓会長式辞
- 来賓祝辞
- 来賓紹介
- 熱田高校現況報告
- 報告事項
- 事業経過報告
- 目録贈呈
- 感謝状贈呈
- 審議事項
- 会計報告
- 監査報告
- 役員改選
- 会則改正
- 閉会のことば



絵画の展示と音楽も！ 楽しむ



参加者 テーブル席



さわやかに



ご来賓のみなさま



乾杯のご発声  
第 16 代小林整次校長



懐かしのメロディー

#### ～祝賀会～

開会・乾杯

演奏を楽しもう  
親睦パーティ

校歌斉唱  
万歳三唱  
閉会

#### 同期会の開催

10・11・12・15・17  
18・21・26

熱田高校主催 70 周年式典

体育館

令和 4 年 11 月 1 日 13 時



式典と講演



ホームカミングデーの歴史

熱田空襲と熱田高校

1945年(昭和20年)6月9日9時30分頃に、軍需品メーカー愛知時計電機のあった白鳥橋周辺が、B29爆撃機の攻撃を受け、わずか8分間の空爆で2000名以上の死者を出した。学徒動員が多数犠牲になったこともあり、愛知時計の正門前には慰霊碑が作られた。戦争の爪痕は堀川の白鳥橋下流右岸に爆撃の跡を残し、また熱田神宮南門の鳥居にも爆弾の破片の傷をのこしている。熱田高校は、昭和28年愛知時計の跡地に建設された戦後初の県立高校である。

第1回ホームカミングデー

母校に戻り、戦争や復興の歴史を語り、旧交を温めるホームカミングデー。

平成27年8月、戦後70年の節目に熱田高校の発展と平和の大切さを願う企画。女学校から学徒動員されていた粕谷倅子さん(89)は「空爆の惨状を「橋のもとに死体が浮かんでいた。ぼうぜんとするしかなかった」と話され、言論の自由にも触れ、「自分で考え、発言することを忘れないで」と呼びかけた。

第2回ホームカミングデー

平成30年8月、卒業生による「琴(内田玉苑松12回生)と尺八(後藤晴彦15回生)の調べ」、「トロンボーン(奏者向井滋春12回生)と吹奏楽部のコラボ」で在校時代を偲んだ。



校長室にて 卒業アルバムや戦争の資料をみる

在校生による おもてなし

第3回ホームカミングデー

令和4年8月7日 10時

コロナ禍、1年間日延べ後の開催。完成した「運動場の芝生化と改修工事を終えた管理棟の見学」を兼ねての開催で、2人のミニ講演会を取り入れました。講師については、「がんばれ熱高生」の欄で紹介しています。また原稿も依頼しましたのでお読みください。



浅井武氏 ミニ講演



小塚聡美氏吹奏楽部とコラボ



校長室にて 熊谷校長と歴代の額

# がんばれ熱高生

今回はホームカミングデーで講演していただいた20回生浅井武氏と29回生小塚聡美氏に熱高生へのエールの原稿をお願いしました。12回生森田文二氏は激動の時代を生き抜いた生き方を、16回生木下浩志氏には「会報25号」を受けて、故三遊亭円丈（8回生）さんとの思い出の原稿をよせてくださいました。また11回生服部政一氏が朝日新聞の「天声人語（2022年10月19日付）」に紹介されました。本文を載せておきますので一読ください。服部氏の息子さん（当時旭丘高2年で米国留学中）が1992年射殺された。ご夫婦は、銃社会規則を求める署名活動を行い、日米で18万人の署名を獲得。それは時の米大統領クリントンを動かし、大統領に面談。署名を渡した。

## We have a dream

### 20回生 浅井武

令和4年8月7日

日に母校熱田高校で卒業生を対象としたホームカミングデーが開催され、最初で最後のカミングデーかと思いきや新幹線に乗って参加させて頂きました。

当初は昔を思い起して、高校時代をノスタルジックに懐かしむのだからと思っていました。卒業して初めて正門に入り、正面の校舎と校章を見た途端、いきなり熱田高校生に戻りました。気持ちの豹変に自分自身が驚きました。

数十歩体育館に向かって歩き、鮮やかな緑の人工芝グラウンドが目飛び込んで来た時、それとは比べものにならない衝撃を受けました。「ついに、やってのけたんだ」そこには、長年の悲願であったグラウンドの人工芝化が実現されており、そのお披露目のサッカーゲームの準備が進められていました。教育関係の仕事に携わった関係で、横並びを尊ぶ公立高校界において、県内初めての人工芝グラウンド化を実現することが、いかに困難なこと、大変なことかが分かるだけに、これをやり遂げて下さった歴代熱田高校校長始め教職員の方々、同窓会長を始め同窓会構成員の方々のご努力・ご尽力には、驚き

と敬意を持たざるを得ません。私が最も敬意を抱いたのは、生徒のためになるならどんな苦難にも立ち向かおうとする熱田高校の同窓会の情熱と姿勢であり、その「気概」に深く感動させられました。



講師を囲んで 参加20回生と浅井武氏(前列右2人目)

実際人工芝のハードウェア自体は、Jリーグクラブや強豪私立高校と同等レベルのものであり、それ自体が日本最高という施設ではありませんし、それで優勝が約束されるものでもありません。しかし、その実現を目指した情熱・熱意は、まさに「We have a dream」の具現化であり、その本気度で熱田高の面目躍如を思わずにはいられませんでした。

カミングデー後半では、皆が校舎の中を歩きながら感慨深そうに「この教室だったよ」などと話すのも新鮮で、素朴な高校生に戻りながら忘れかけていた「I have a dream」やハングリー精神を思い出しているようでした。

そして、カミングデーに参加し「We have a dream」を実践する熱田高校の卒業生であり、同窓会メンバーの一員であることを再確認して不思議と熱田高校という存在そのものに、前に進む勇気と力を与えられたような気がしています。

(筑波大学名誉教授)

## 悔いなきチャレンジを

### 29回生 小塚聡美



熱田高校吹奏楽部でオーボエという楽器に出会い、泣いて笑って駆け抜けた3年間。卒業後も縁あって趣味で

楽器を続ける事ができ、演奏の場で先輩・後輩・同級生に出会い卒業生の活躍を耳にする中で、青春時代の思い出として熱田高校を感じる場面はあっても、まさか自分がホームカミングデーで話することになるとは思っておりませんでした。

きっかけは、平成29年4月に先輩方のご尽力により開催された吹奏楽部同窓生懇親会。秦先生、25〜34年生60名ほどが出席したのですが、旧交を温めるだけではなく、同窓生として吹奏楽部のお手伝いができたという想いを、顧問の佐々木先生は快く受け止めてくださり、オーボエパートの練習や合奏に参加させていただくこととなりました。



オーボエ奏者 小塚聡美さん(中央)

数十年ぶりに足を踏み入れた音楽室と教官室、変わらない空気にホッとしながらも、両親よりも年齢が上の卒業生を受け入れてもらえるの

か少しだけ不安を感じながらの初訪問でした。しかし、楽器を吹くことに年齢は関係なく、コンクールの結果に一喜一憂したり、定期演奏会に参加させていただいたりすると楽器を始めた頃の新鮮な気持ちになり、元気をもらっておりました。

そんな中での新型コロナウィルス感染症の拡大による課外活動の自粛。もう熱田高校には伺えないのかなと寂しさを感じていた矢先、万前先生からホームカミングデー参加依頼をいただきました。当日は人工芝に変わった校庭に驚き、雨の体育祭で泥だらけになって帰ったことを思い出しながらの話、吹奏楽部演奏披露に加えていただいたの楽器紹介と夢のような時間を過ごすことができました。

現在、私は困難を抱かえた方を支援する業務に携わっていますが、熱田高校で出会った先生、先輩・後輩・同級生、そして楽器を続けていられたことが、私を支えてくれていると感謝しています。

コロナ禍で学校生活も大きく変わってしまいましたが、熱田高校での出会いを大切に社会に羽ばたいてもらいたい、微力ながらそのお手伝いができたらと思っています。

(愛知県職員)

## 激動の時代を駆け抜けた半生

### 12回生 森田 文二



高校を卒業して早や55年。入学した1964年は新幹線の開通、東京オリピックの開催、日

本初の高速度道路の開通(名神)。66年The Beatlesの来日と、日本が大きく成長し・変貌を続け、その20年後のバブル時代に繋がる、とても躍動感のある時代でした。

大学紛争でスト中の高崎経済大学に入学し、ストを横目で見ながら、高校の予餞会の演奏で覚えたギターをもって、軽音楽部の6バンドの1つに「Group sounds (和製英語)」

いわゆるGSバンドに入部しました。若者がGSに熱中する時代、ギターの名手と、3人の「ハモって歌える」メンバーのおかげで結構な人気となりました。各種パーティ・演奏会に忙しく、そんな中デパートのビアホールの専属バンドとして契約、夏季4ヶ月間卒業まで3年間、バンドで月30万円程の高額な収入を得ました(68年度大学卒初任給3万円程度)。おかげで、卒業時には、100万円相当の楽器を後輩に残すことができました。

バンドで忙しく、勉強した記憶がないくらいでしたが、試験中の必死の対策のおかげで、無事4年間で卒業でき、兄の誘いもあり、金属加工を営む父の会社に入社しました。経営学科卒ですが、人手不足の時代、いきなり省力化機械の設計を依頼され、機械メーカーに数ヶ月出張して、なんとか依頼された機械の設計製造を完成。省力化機械の内製化を軌道に乗せることができました。

その後、品質・生産管理の仕事を続け、29歳の時(1978年)、兄の「下請けでなく自身で単価の決められる仕事が見たい」との思いから、「(当時人気が出始めた)ファミリールレストランに参入しよう」との要望を受け、飲食業に取り組みましたが、結果的にファミレスは断念。せっかく着手したのだからと、その後飲食業の研究・勉強を続け、1979年「スバゲッティハウス」を名古屋駅前第5堀内ビル1階でオープンしました。素人が手掛けたといった不安をよそに順調に売上を伸ばし、現在チャオ5店舗、チャオニーノ(チャオのフードコート店)2店舗を営業しております。平成3年には、「ひつまぶし稲生」を中日ビルで開業(現在は中日ビル閉鎖により閉店)。今年稲生4店舗目となる小牧小針店をOPENさせました。

中小企業庁の資料では、業種別の廃業率は「宿泊業・飲食サービス業」が最も高く厳しい業種であることは承知していましたが、現実の廃業率は、開業3年以内で70%、5年で80%と厳しい業界でした(M&A総合研究所資料)。

「じゃがいもの皮もむけない」私でしたが、料理することが好きで得意である妻(今年金婚式を迎えました)と、現在25名の社員と250名のスタッフに支えられ、43年間続けてこられましたことに、深く感謝いたしております。

高校入学からの58年間を報告させていただきました。高校時代毎日軟式テニス部で練習に明け暮れた日が昨日のことのように思い出されます。

(株)モリタ取締役会長

円丈師匠を偲んで

円丈さんと飯伊の狛犬

16回生 木下 浩志



三遊亭円丈という名前をご存知ない方も、立川談志という名前はどこかで耳にしていると思います。

談志さんが落語界の風雲児ならば円丈さんは新作落語界の開拓者と



故三遊亭円丈さん(76)

言えるでしょう。いま輝いている志の輔・昇太・文珍さんなどに新作落語の道を拓いたのは、円丈さんと言っても過言ではないでしょう。

その円丈さん、狛犬にも造詣が深く自らも全国4千社以上を巡り、研究書も出版されています。狛犬とは、神社の社殿や参道の前に置かれた神域を守る神獣をいう。

私は「THE狛犬!コレクション」(立風書房)に触発され、長野県飯田下伊那の多くの神社を巡りました。高校の先輩円丈さんに報告したところ、1997年2月にプライベートで狛犬探検に来飯されました。

この時は松尾の鳩ヶ嶺神社・山本の七久里神社・今宮効戸八幡社・長姫神社などを巡りました。帰京後円丈さんは飯伊と他地区の違いなどの詳細な説明付きのオリジナル写真帳

を贈って下さいました。今では私の宝物になっております。

その後も私は調査、円丈さんに報告を続けていると2000年12月根羽村若宮神社の狛犬について「素晴らしい発見です。長野県最古の狛犬かもしれません」とのメールが届きました。

2002年4月伊賀良寄席が行なわれた翌日「狛犬探検ツアー」を催すと多数名が参加。飯田ケーブルテレビも同行取材してくれました。

この日に巡った阿智村の伊賀良神社の狛犬は、日本最古の狼の狛犬として、円丈さんも認められ日本土地師学会通信にも発表されました。

最後に立ち寄った中村八幡社の狛犬に延宝6年の文字がはっきりと刻まれていました。参道狛犬はほとんど野ざらしなのですがこの狛犬は本殿の軒下にあつたおかげで劣化が少なく奉納者・奉納年月が読み取れました。円丈さんの「これこそ長野県最古の狛犬です」とのお墨付き

を頂き2020年に飯田市の文化財に認定されました。円丈さんの多彩な活動が、母校熱田高校関係者の間でもよく知られていないのが残念です。この文を読んで少しでも円丈さんのことに関心を持っていただければ幸いです

(長野県飯田市在住 しなの路自営)

アメリカ大統領クリントンを動かした 服部政一夫婦

天声人語

生まれてきた息子に、丈夫に育ってほしいという願いを込めて両親は「剛丈」と名付けた。友人を6、7人も家に招くような陽気な青年に育ち、16歳で米国へ留学に旅立った▼日曜の午後だったと父親の政一さんは記憶している。電話が鳴った。「剛丈さんがシャサツされました」。聞き慣れぬ響きが「射殺」を意味するとわかるまで、一瞬あつたという▼名古屋市の服部剛丈さんが米ルイジアナ州で撃たれて亡くなって、きのうで30年がたつ。パーティー会場と間違えて、ハロウィーンの仮装をして民家を訪ねた夜だった。ごく身近に銃があつた。政一さんと妻の美恵子さんは二人三脚で銃社会の見直しを米国に求めてきた▼政一さんはいま75歳。体力も落ち、運動にいったん区切りをつけると思き、ご自宅を訪ねた。その日、米国では15歳の少年による乱射事件があり、5人が死亡した。法規制で一步進んだと思えば、後ろに引き戻される。なんとやるせない歳月だったか▼だが政一さんは「世界は変えられる」と揺るぎなかった。「待っていて何も変わらない。でも、自分で一步を踏み出せば風景は変わる。この世代で到達できなくても、次の世代がいますよ」。未来への希望を感じた▼その強さはどこから来るのか。答えの一つを過去のインタビューに見つけた。「自分が運動しているより、天国の息子がする運動に体を貸して手伝っている感覚」と語っている。二人三脚ではなかった。三人四脚の旅路に深くこうべを垂れる。

# 熱田高校の今

## 総文祭に参加した

### 充実した3日間

#### 2年生 文芸部 西元楓



8月某日、全国総合文化祭の会場である東京へと足を向けました。東京の空は高く、いつも見る空よりも色鮮やかにみえます。よく晴れた炎天下で、3日間に及ぶ大会が開かれます。

1日目の文学散歩は、トキワ荘マンガミュージアムがとても印象に残っています。ここでは、現在のマンガ界に名を馳せる著名な漫画家が住んでいたという部屋が細かく再現され、その生活風景と、名作と呼ばれる作品たちが展示されておりました。私が聞いたことのあるタイトルの作品も多く、それらが現在も人々のりから評価されているというのは感嘆すべきこと。ジャンルが違うと言えども、目指すべきものだと思います。

2日目は交流会。そこでは日本全国から来た生徒たちが班に分かれ、各々の作品の合評や額賀濤先生による講演とワークショップなどを行いました。合評会では事前に読んでいた作品の感想を伝えあい、作かったところや、印象残ったところを発表しあいます。自分の作品に関する客観的な意見を聞くことで、自分では想像もつかなかった視点に気づくことができ、非常に勉強になりました。

額賀先生による講演では、ワークショップを通して実践し、創作活動をするうえで重要なことを教えて下さいました。今までの自分では出来なかつた点や作品制作の基礎などプロの作家の方から得られるものは大きく、自分のレベルアップにも繋がるものになりました。



3日目では、作家の谷村志穂さんによる記念講演会が行われました。自身のエピソードや、作品を書くうえで思うこと、小説とは何か、など終始穏やかに話してくださり思わず聞き入ってしまう講演でした。今回の3日間を通し、私は色々

な経験を得ることができました。これを糧に、私自身の大きな成長に繋がりたいと思います。このような素晴らしい経験を得る機会をくださったことに深く感謝申し上げます。



人工芝運動場でくつろぐ生徒

## 事務局たより

### 紅い実 (パステル画)

#### 11回生 田中和枝(旧姓・竹内)



落葉の頃 やがて烏瓜(からすうり)の実も落ちる 今年も残り 後1ヶ月

## 同期会開催費用の助成について

回生幹事・クラス幹事の皆様、卒業周年時に同期会を開きませんか。開催される回生は、5年単位と10年単位などの節目で計画をされており、年配の方は、還暦・喜寿などもあります。

同窓会では、宛名シールと郵送費(上限5万円)の助成をします。連絡先 熱田高校学校幹事宛へ

著書の寄附のお願い

創立70周年記念を祝して、図書館に「卒業生図書コーナー」の設置がお願い出来ました。ご寄贈下さい。寄贈図書は、次号「27号」の会報から紹介して参ります。(送り先熱田高校同窓会事務局宛)

開催された同期会の模様と会計報告は次号「27号」で掲載します

## 訃報

- 石黒 茂 第15代校長 令4・9・29
- 黒田 泰江 六回生 令4・5・17
- 杉本 正紀 八回生 令4・2・9
- 梅田 耕作 十五回生 令4・5・13

ご逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

クラス幹事の皆様へ

訃報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。(係より)